

企業訪問 循環型最前線レポート

(株) ハイセイ

解体からリサイクルまでの 総合一貫システムで 循環型社会の実現に貢献

(株) ハイセイ

ハイセイの会社案内には、「環境と共生は、もはや現実に行動を起こし、成果を出すべき時代になりました。汚染や悪化の「防止」ではなく、クリーンで地球にやさしい環境の「創造」へ。私たちは建築物の解体から分別、運搬、焼却、リサイクルに至る一貫したトータルシステムを構築し、あるべき循環型社会の実現に貢献します」という言葉が掲げられています。

その言葉を実現するために ハイセイでは協力業者25社で構成されるハイセイ会の会合を毎月行い、情報交換と勉強会を行っています。



環境事業の社会的使命感について話す井上部長

その中で、今回お話を伺った環境事業部という中心的な部署で部長を務める井上雅浩氏の業務は多岐にわたります。最終処分施設を全国飛び回って見学し、処理実態を確認したり、個別の資料を作成して顧客を訪問し、報告を行ったり。また、地域の皆さんとのコミュニケーションを図って理解を深めてもらったり、協力会では教育や訓練の場を設けてスタッフの意識の維持と向上を目指すなど、「自分で動く」を信条に業務にあたっています。

「排出事業者が安心できる会社でありたいと常に思っています。そのためにも最新の情報や行政の動きにもアンテナを立てています。また、社訓でもある「ムリ・ムダ・ムラをなくす」ということも頭に



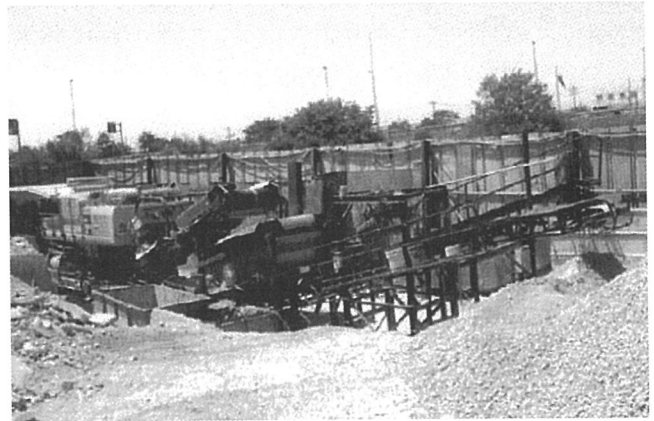
株式会社ハイセイ

■代表者/平沼 健一 ■所在地/愛知県海部郡蟹江町今西3-28 TEL.0567-96-0885 FAX.0567-96-0886

URL:<http://www.heisei-ko.co.jp>

■(株)ハイセイリサイクルセンター/海部郡蟹江町須成西4-73

■(株)ハイセイ焼却センター/津島市大縄町7-131-1



おいて、自分だけでなく現場の皆さんにも意識してもらえるような教育・訓練も実施しています。やはり確認することによって意識は定着していくものですから、繰り返し話し合います。その中でもどんどん新しいことに目を向け、「ヘイセイに頼めば安心」と言ってもらえるような仕事をしたいと思っています」と話す。

現在は、これまで培ってきた信頼で業務の維持を図ってきましたが、今後は最後まで自社管理で行えるシステムの構築と、新たな試みも考えているとのことでした。

「中間処理の利点を生かし、焼却で出る熱で発電を考えています。システムの中のものを利用して製品にしていきたいと思っています。そうすることによって、敬遠される施設ではなく地域に貢献できる施設として地域の皆さんにも一層喜んでいただける施設にしたいと思っています。現在はテストと調査の段階ですが、必ず形にしていきたいと思います」と井上氏は話す。

ヘイセイでは、焼却場のまわりの清掃はもちろん、地域の草刈りなどを行い地域の皆さんとのコミュニケーションも図っているそうです。今年のテーマである「改革十一歩前進」に全力で取り組みたいと思います」と力強い言葉で締めくくられました

